



6. さあ、やってみよう

スイッチの入れ方






 電源ボタンを
 
 指の腹で
 
 ランプが点くまで押すだけ。



前回の続きが出てくる。

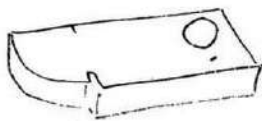
※ ツメを立ててはいけなし。操作パネルをおかしている膜を痛めてしまう。(これも高い。)

初めっからやりたいときは、

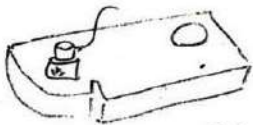

 電源ボタンと
 
 取消ボタンを同時に押して、
 
 電源ランプが点いたら、
 
 電源ボタンだけ指をはなし、取消だけ押し続けると初期化される。

いきなりで“すか”



標準試験片 STB A1 (スタンダードテストブロック)











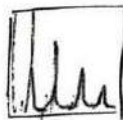
重たいし、すべると危いので、両手で持つこと。移動させるときは、座ったまま、と腰にくるくらい重たい。ぶつけないように。(これもむちゃくちゃ高い。)



垂直探触子をおいても何も出てこないかも。


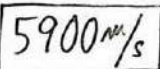

マシン油  を  ひく(り返して)一滴おとしてみる。

あまり出なかったり  出すぎたら  ゲイン  を押すと、感度をかえることができる。     で上がる。  で下がる。



探傷画面にそれらしいものが出たところまで。

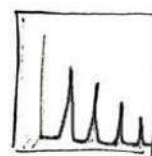
超音波探傷器をちゃんと設定しておこう。

準備  音速 を押して  5900 m/s を選択。画面を押さず右のボタン。  TUV

測定範囲



を押し  125 mm を選択。



こんな画面になたはず”